

北労発基0604第6号  
平成30年6月4日

関係団体代表者 殿

厚生労働省北海道労働局長



職場における熱中症による死傷災害の発生防止について

労働行政の推進につきまして、日頃から格別の御配慮をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、今般、厚生労働省において、平成29年の職場における熱中症による死傷災害発生状況が別紙のとおり取りまとめられました。

平年並みの暑さであった今年の北海道内においては、熱中症による休業4日以上の災害が10件と前年比で4件増加しています。

気象庁地球環境・海洋部による今夏の天候見通しでは、北日本は「平年並みか高い見込み」とされており、熱中症による死傷災害のさらなる増加が懸念されています。

つきましては、職場における熱中症予防対策の徹底について、別添のリーフレット「STOP!熱中症 クールワークキャンペーン」及び「平成29年北海道内で発生した熱中症」を御活用いただくとともに、7月の重点取組期間を前にHPの「環境省熱中症予防情報サイト」の活用を傘下事業場等に対し周知いただきますよう特段の御協力をお願い申し上げます。

担当 北海道労働局労働基準部健康課  
電話 011-709-2311 内線 3563



職場における熱中症による死傷災害の発生状況

1 職場における熱中症による死傷者数の推移（平成20～29年）

過去10年間（平成20～29年）の職場での熱中症による死亡者及び休業4日以上  
の業務上疾病者の数（以下合わせて「死傷者数」という。）をみると、平成22年に656  
人と最多であり、その後も400～500人台で推移している。

平成29年の死傷者数は544名、死亡者数は14名となっており、平成28年と比較  
して、死傷者数、死亡者数いずれも2割程度増加している。

職場における熱中症による死傷者数の推移（平成20～29年） (人)

20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年
280	150	656	422	440	530	423	464	462	544
(17)	(8)	(47)	(18)	(21)	(30)	(12)	(29)	(12)	(14)

※ ( ) 内の数値は死亡者数であり、死傷者数の内数。





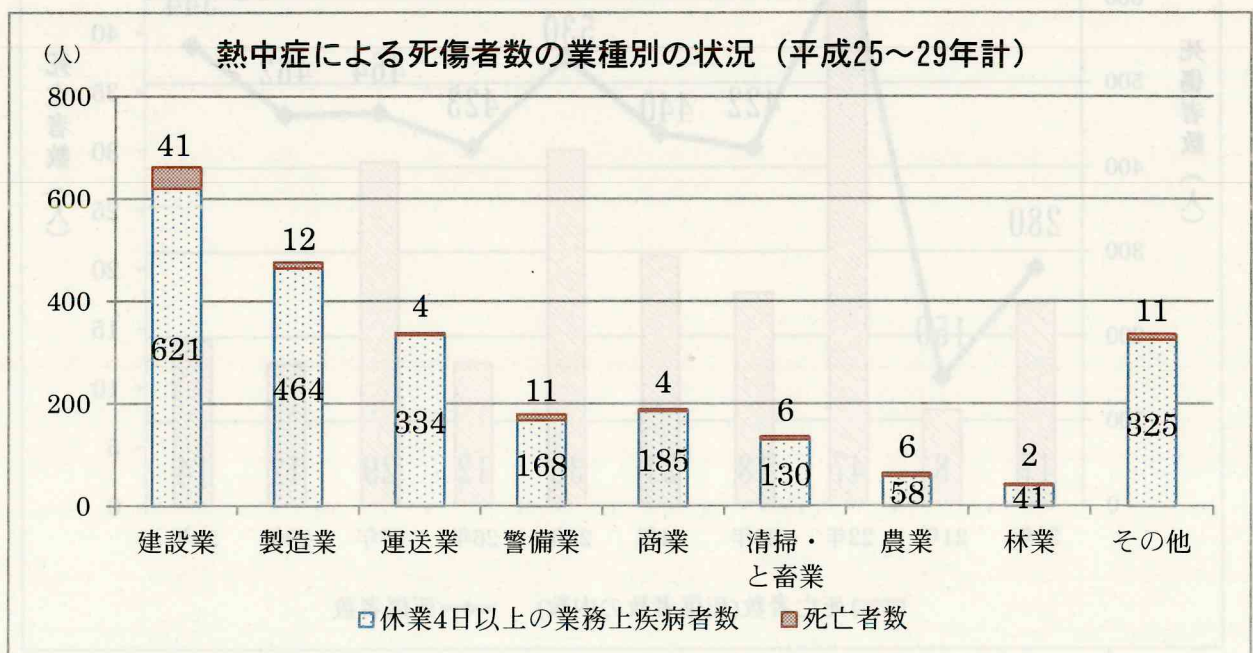
## 2 業種別発生状況（平成 25～29 年）

過去 5 年間（平成 25～29 年）の業種別の熱中症による死傷者数をみると、建設業が最も多く、次いで製造業で多く発生しており、全体の約 5 割がこれらの業種で発生している。なお、平成 29 年の業種別の死亡者をみると、建設業が最も多く、全体の約 6 割（8 人）が建設業で発生している。

熱中症による死傷者数の業種別の状況（平成 25～29 年） (人)

業種	建設業	製造業	運送業	警備業	商業	清掃・ と畜業	農業	林業	その他	計
平成 25 年	151 (9)	96 (7)	68 (1)	53 (2)	31 (3)	28 (2)	8 (1)	8 (1)	87 (4)	530 (30)
平成 26 年	144 (6)	84 (1)	56 (2)	20 (0)	28 (0)	16 (0)	13 (1)	7 (0)	55 (2)	423 (12)
平成 27 年	113 (11)	85 (4)	62 (1)	40 (7)	50 (0)	23 (2)	13 (1)	8 (0)	70 (3)	464 (29)
平成 28 年	113 (7)	97 (0)	67 (0)	29 (0)	39 (1)	37 (1)	11 (1)	13 (1)	56 (1)	462 (12)
平成 29 年	141 (8)	114 (0)	85 (0)	37 (2)	41 (0)	32 (1)	19 (2)	7 (0)	68 (1)	544 (14)
計	662 (41)	476 (12)	338 (4)	179 (11)	189 (4)	136 (6)	64 (6)	43 (2)	336 (11)	2,423 (97)

※ ( ) 内の数値は死亡者数であり、死傷者数の内数。



### 3 月・時間帯別発生状況

#### (1) 月別発生状況（平成25～29年）

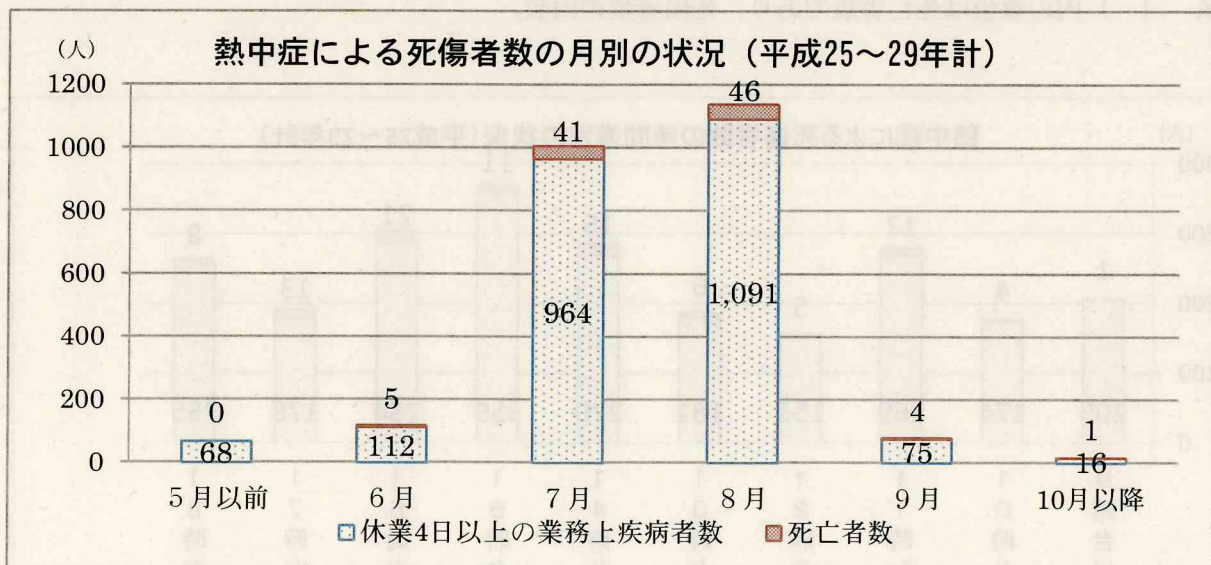
過去5年間（平成25～29年）の月別の熱中症による死傷者数をみると、全体の約9割が7月及び8月に発生している。

熱中症による死傷者数の月別の状況（平成25～29年） (人)

	5月以前	6月	7月	8月	9月	10月以降	計
平成25年	16 (0)	15 (1)	185 (14)	295 (14)	12 (0)	7 (1)	530 (30)
平成26年	6 (0)	32 (0)	182 (6)	191 (5)	8 (1)	4 (0)	423 (12)
平成27年	15 (0)	19 (2)	212 (10)	210 (16)	7 (1)	1 (0)	464 (29)
平成28年	12 (0)	26 (2)	162 (2)	219 (6)	39 (2)	4 (0)	462 (12)
平成29年	19 (0)	25 (0)	264 (9)	222 (5)	13 (0)	1 (0)	544 (14)
計	68 (0)	117 (5)	1,005 (41)	1,137 (46)	79 (4)	17 (1)	2,423 (97)

※ 「5月以前」は1月から5月まで、「10月以降」は10月から12月までの合計。

※ ( )内の数値は死亡者数であり、死傷者数の内数。





(2) 時間帯別発生状況 (平成 25～29 年)

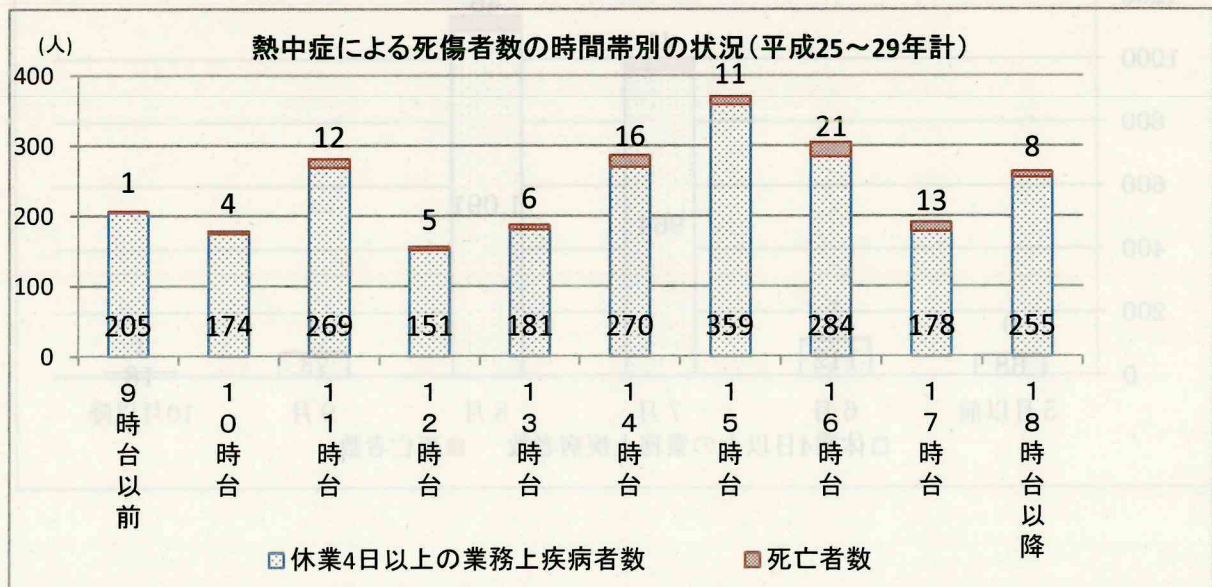
過去 5 年間 (平成 25～29 年) の時間帯別の熱中症による死傷者数をみると、11 時台及び 14～16 時台に多く発生している。なお、日中の作業終了後に帰宅してから体調が悪化して病院へ搬送されるケースも散見される。

熱中症による死傷者数の時間帯別の状況 (平成 25～29 年) (人)

	9 時台以前	10 時台	11 時台	12 時台	13 時台	14 時台	15 時台	16 時台	17 時台	18 時台以降	計
平成 25 年	40 (0)	40 (2)	55 (2)	25 (1)	29 (1)	68 (6)	78 (3)	88 (6)	49 (6)	58 (3)	530 (30)
平成 26 年	24 (0)	39 (0)	46 (2)	43 (1)	32 (1)	47 (2)	69 (1)	48 (3)	31 (0)	44 (2)	423 (12)
平成 27 年	45 (0)	23 (1)	61 (3)	34 (2)	41 (3)	59 (6)	66 (3)	53 (5)	37 (4)	45 (2)	464 (29)
平成 28 年	50 (1)	35 (0)	52 (2)	21 (0)	34 (1)	56 (1)	75 (2)	47 (3)	39 (1)	53 (1)	462 (12)
平成 29 年	47 (0)	41 (1)	67 (3)	33 (1)	51 (0)	56 (1)	82 (2)	69 (4)	35 (2)	63 (0)	544 (14)
計	206 (1)	178 (4)	281 (12)	156 (5)	187 (6)	286 (16)	370 (11)	305 (21)	191 (13)	263 (8)	2,423 (97)

※ 「9 時台以前」は 0 時から 9 時台まで、「18 時台以降」は 18 時から 23 時台までの合計。

※ ( ) 内の数値は死亡者数であり、死傷者数の内数。



#### 4 平成 29 年の熱中症による死亡災害の詳細

平成 29 年に熱中症によって死亡した全 14 人について、その発生状況は以下のとおりである。

##### 【全体の概要】

- (1) 14 人のうち、13 人については、災害発生場所で WBGT 値の測定を行って  
なかった。
- (2) 14 人のうち、13 人については、計画的な熱への順化期間が設定されてい  
なかった。
- (3) 14 人のうち、4 人については、事業者が水分や塩分の準備をしていなか  
った。
- (4) 14 人のうち、5 人については、労働安全衛生法第 66 条に基づく健康診断が  
行われていなかった。

##### 【各事案の詳細】

※現場において WBGT 値の測定が適切に行われていなかった今回の 13 件の事案では、環境省熱中症予防情報サイトで公表された現場近隣の観測所における災害発生日時頃の WBGT 値を参考値として下段に示した。

番号	月	業種	年代	事案の概要
1	7	農業	50 歳 代	被災者は災害発生当日午前 9 時から施設の草刈り等の作業を行っていたが、昼以降に体調が悪くなり、早退した。帰宅後、体調不良のところを家族に発見され、病院に搬送された。入院後は回復の兆しをみせていたが、4 日後に体調が急変し、災害発生から 6 日後に死亡した。
				・環境省熱中症予防情報サイトによる WBGT 値は 25.7℃。
2	7	その他の 土木工 事業	30 歳 代	被災者は災害発生当日の午前 8 時から、伐採された木等の運搬作業を、気温 30℃ を超える屋外で行った。適宜休憩をとっていたが、作業終了後の午後 4 時頃に被災者が倒れているところを発見された。日陰で安静にさせたが、嘔吐と痙攣を起こしたため、救急車で病院に搬送された。その後、死亡が確認された。
				・環境省熱中症予防情報サイトによる WBGT 値は 30.7℃。

3	7	築工事業 鉄骨・鉄筋コンクリート造家屋建	40 歳代	被災者は災害発生当日、現場敷地内で不要となった電柱2本を抜いて持ち帰る作業を午前10時から行っていた。午後2時前に作業が終了し、事業主が電柱を運搬車に乗せ、先に現場を出た。その後、被災者が建柱車で現場を出たところ、現場付近公道の溝に建柱車の左後輪を脱輪した。被災者は脱輪復旧を試みたが復旧できず、運転席でぐったりしているところを発見された。病院に搬送後、死亡が確認された。
				・環境省熱中症予防情報サイトによるWBGT値は32.1℃。
4	7	その他の建築工事業	20 歳代	被災者は災害発生当日、酒蔵の屋根で、金属製力バーを運搬する作業を行っていた。作業終了後屋根上で単線回収作業を行い、その後行方不明となった。他の作業員が搜索したところ、屋根上で意識不明の状態が発見された。
				・環境省熱中症予防情報サイトによるWBGT値は29.3℃。
5	7	警備業	30 歳代	被災者は、災害発生当日の午前9時から宅地造成工事現場の警備業務に従事していた。午後3時頃現場作業が終了し、工事関係者が現場の片付けを行っていたとき、被災者が体調不良となったため、救急車で病院へ搬送した。しかし、翌日搬送先の病院で、熱中症による多臓器不全により死亡した。
				・環境省熱中症予防情報サイトによるWBGT値は27.3℃。
6	7	農業	70 歳代	被災者は災害発生当日、野菜畑で同僚と一緒に午前7時から草取り作業を行っていた。午後0時、各自の自家用車で自宅に戻って昼食と休憩をとるために一旦解散したが、その後、野菜畑に戻ってきた同僚によって、畑脇に駐車した被災者の車の運転席で、意識不明の状態で見つかった。
				・環境省熱中症予防情報サイトによるWBGT値は32.7℃。
7	7	ト造家屋建築工事業 鉄骨・鉄筋コンクリート	40 歳代	被災者は災害発生当日、住宅新築工事現場で、擁壁の型枠建込み作業中にけいれんを起こして倒れ、病院へ搬送されて入院中だったが、約2か月後に死亡した。
				・環境省熱中症予防情報サイトによるWBGT値は28.1℃。



8	7	警備業	40歳代	被災者は災害発生当日、個人住宅の上水道引き込み工事現場で、道路誘導員として現場に入場していた。午前10時頃から体調が悪化し、呼びかけにも答えられないような状況となった。その後救急搬送されたが、4日後に死亡が確認された。
				・環境省熱中症予防情報サイトによるWBGT値は30.5℃。
9	7	鉄骨・鉄筋コンクリート造家屋建築工事業	40歳代	被災者は災害発生当日の午前9時から気温30℃を超える状況でコンクリート打設作業に関する左官工事を開始した。午後4時30分頃、被災者が屋上の作業場で倒れている状態で発見され、救急車で病院に搬送されたが、午後12時頃に死亡が確認された。
				・災害当日午後3時に現場で測定されたWBGT値は30℃。
10	8	通信業	50歳代	倉庫作業場で、パレットからフリーローラーに荷物を降ろすピッキング作業に従事していた。午前の作業終了後に休憩に入り、休憩後に休憩室から出ようとしたところ、歩行不能となり病院へ救急搬送された。療養中であったが翌日死亡した。
				・環境省熱中症予防情報サイトによるWBGT値は29.4℃。
11	8	その他の土木工事業	50歳代	被災者は災害発生当日、法面防護フェンスに絡んだつる草を鎌で刈り取る作業（除草作業）を終日行い、終業後帰宅しようとして事業場敷地内の駐輪場へ移動した。その後、駐輪場で意識不明の状態で倒れているところを発見され、意識不明の状態が続いていたが、約1か月半後に死亡した。
				・環境省熱中症予防情報サイトによるWBGT値は26.9℃。
12	8	理業 その他の廃棄物処	40歳代	被災者は家庭ゴミの収集を行っていたが、午前11時頃に突然倒れた。ただちに病院に救急搬送されたが、約2時間後に死亡が確認された。当日、午前11時頃には既に気温が31℃を超えており、高温環境での作業であった。
				・環境省熱中症予防情報サイトによるWBGT値は31.4℃。
13	8	その他の土木工事業	50歳代	被災者は災害発生当日、道路脇の草刈作業を行っていたが、午後4時20分頃に熱中症の症状が見られたため、休憩するよう指示を受けた。トラックで休憩するため、被災者は歩いて向かった。しかし、その後行方が分からなくなり、周囲を探したところ、近隣の建物の駐車スペースで意識の無い状態で発見された。その後、病院に搬送されたが、3日後に死亡した。
				・環境省熱中症予防情報サイトによるWBGT値は31.2℃。



## 6 都道府県別の職場における熱中症による死亡者数（平成 20～29 年）

	都道府 県	H20 年	H21 年	H22 年	H23 年	H24 年	H25 年	H26 年	H27 年	H28 年	H29 年	合計
1	北海道			1		1			1	1		4
2	青森								1		1	2
3	岩手			2		1			1	1		5
4	宮城	1		1		2			1			5
5	秋田					1	1					2
6	山形			1								1
7	福島	1						1	3	1		6
8	茨城			3			3	1			1	8
9	栃木			1				1	3			5
10	群馬			2				1				3
11	埼玉			4	2	1	1		1			9
12	千葉			2	1		2	1	2			8
13	東京	1	1	2				1				5
14	神奈川			3	2		3	1				9
15	新潟			1								1
16	富山					2	1					3
17	石川					1				1		2
18	福井	2		1								3
19	山梨	1		1								2
20	長野						1		1			2
21	岐阜						1	1				2
22	静岡		1	5	3	2	1					12
23	愛知	1		3	1	1	3		4	1	1	15
24	三重	1		1	2	2	3		1			10
25	滋賀	1	1		1			1		1		5
26	京都		1	1		1	1					4
27	大阪		1	1	1	1		2	2	2	1	11
28	兵庫						2		1		1	4
29	奈良	2		2							1	5
30	和歌山										2	2
31	鳥取			1								1
32	島根			1								1
33	岡山		2	3								5
34	広島	1		1					1		2	5
35	山口	1			1							2
36	徳島											0
37	香川					1			2		1	4
38	愛媛	1					2		1	1		5
39	高知						1					1
40	福岡	2			2	1			1	2		8
41	佐賀											0
42	長崎						2		1			3
43	熊本	1		1		1						3
44	大分				1		2					3
45	宮崎				1					1		2
46	鹿児島			1		1		1	1		1	5
47	沖縄		1	1		1					2	5
	合計	17	8	47	18	21	30	12	29	12	14	208





# 平成29年北海道内で発生した熱中症

北海道労働局労働基準部健康課

No.	発生日		発生時間	業種 発生地	年代	休業 程度(日)	気温℃	発生時の作業
	月	日					屋内・外	
1	5	4	9	農業	70	21	25.0	ビニールハウス内での種まき作業
				石狩			屋内	
2	5	31	13	飲食店	60	1	23.7	レストランの調理場でガスを使用しての調理補助作業
				上川			屋内	
3	6	7	10	ビルメンテナンス業	70	3	21.0	パークゴルフ場の草刈り作業
				根室			屋外	
4	6	13	14	警備業	10	2	20.0	工事現場で交通誘導作業
				空知			屋外	
5	6	29	11	林業	60	1	23.0	刈払機で下刈作業
				十勝			屋外	
6	6	30	16	建設業	40	2	27.7	道路工事現場において、河川下流部コンクリートブロック積み作業
				後志			屋外	
7	6	30	17	金属製品 製造業	30	2	29.0	工場内での金属製品加工作業
				石狩			屋内	
8	7	1	11	農業	20	4	約30	ビニールハウスの外壁の土落とし作業
				上川			屋外	
9	7	1	14	警備業	50	1	26.0	交通誘導作業
				胆振			屋外	
10	7	7	13	建設業	40	5	32.6	商業施設の屋根の補修工事現場において、電動工具を用いて屋根のケレン作業
				石狩			屋外	

11	7	7	15	建設業	50	1	30.0	足場の組み立て作業
				上川			屋外	
12	7	8	不明	測量業	50	10	30.0	測量業務
				空知			屋外	
13	7	10	14	建設業	20	2	31.0	屋外で工事のための準備作業
				石狩			屋外	
14	7	11	11	製造業	20	1	30.2	工場内で材料の受け取り作業
				オホーツク			屋内	
15	7	12	11	建設業	40	30	28.0	国道協の防鳥ポール設置作業
				釧路			屋外	
16	7	13	8	建設業	50	2	29.0	人力で管敷設作業
				胆振			屋外	
17	7	13	9	その他の事業	60	3	27.0	地下タンクのフロアーにて清掃作業
				石狩			屋内	
18	7	13	11	建設業	50	7	29.0	RC造の1階建ち上がり部の型枠組立作業
				後志			屋外	
19	7	13	15	自動車整備業	40	5	30.0	自動車整備工場内で整備作業
				根室			屋内	
20	7	14	11	農業	60	4	34.0	畑の草取り作業
				十勝			屋外	
21	7	14	14	建設業	40	1	33.0	改築工事現場において、配筋組立作業
				後志			屋外	
22	7	16	11	電気業	20	1	25.0	機械の清掃作業
				胆振			屋内	



23	7	20	14	林業	60	7	26.6	山林での下刈り作業
				オホーツク			屋外	
24	7	21	12	自動車販売業	20	1	32.0	自動車販売業の整備工場内で車両整備作業
				空知			屋内	
25	7	25	9	その他の事業	40	3	20.0	事務所内で、家畜の診療予約の整理作業
				釧路			屋内	
26	7	26	16	化学工業	30	1	28.0	フォークリフトで荷役作業
				オホーツク			屋外	
27	7	30	12	旅館業	10	1	25.9	ホテルの厨房内で食器洗浄機で作業
				後志			屋内	
28	8	2	16	建設業	60	7	30.0	屋根改修工事において、鋼製屋根板材を撤去する作業
				空知			屋外	
29	8	4	14	建設業	20	1	27.0	空調室外機の撤去作業
				後志			屋外	
30	8	4	16	小売業	20	1	30.0	水産物の燻製を製造する作業
				胆振			屋内	
31	8	7	7	製造業	50	1	20.5	工場内で機械の故障対応作業 (工場内温度32.0℃)
				胆振			屋内	
32	8	7	13	運輸交通業	20	1	28.2	排水設備修繕他工事の土留設置作業
				空知			屋外	
33	8	14	18	運輸交通業	20	1	19.0	引越作業
				石狩			屋内	
34	8	25	10	畜産業	30	1	25.0	牧場敷地内の草刈り作業
				日高			屋外	

発生地は、総合振興局・振興局単位です。  
 気温の欄は、一番近くのアメダス等の記録を用いています。  
 網掛けは、休業4日以上です。

